



		<p>デスクレビュー(フェーズ1検証)の結果に基づき、プロジェクト事業者等に対するヒアリング、書類及び現地確認(フェーズ2検証)を行った。検証ポイントは以下の通りである。</p> <p>&lt;GHGデータ及び情報&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>プロジェクト活動、排出活動及びモニタリングポイントに係るプロジェクト計画書及びモニタリング計画書との整合性</li> <li>発熱量、排出係数、その他パラメーターの引用</li> <li>データの集計結果</li> <li>排出削減量の算定結果</li> </ul> <p>&lt;QA・QC体制&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>モニタリング体制及び算定体制</li> <li>モニタリング担当者の力量</li> <li>データチェックの実施状況</li> <li>計測機器の管理状況</li> </ul>				
排出削減・ 吸収量	年度	2011	2012	—	—	—
	t-CO <sub>2</sub>	16	19	—	—	—
検証結果の要約		<p>一般財団法人 日本品質保証機構(JQA)は、三和エネルギー株式会社による「三和エネルギーB5燃料製造・販売におけるJ-VER創出プロジェクト」を対象として、モニタリング期間(2011年4月1日～2013年3月31日)における二酸化炭素排出削減量を検証した。検証の結果、「オフセット・クレジット(J-VER)制度に基づく温室効果ガス削減プロジェクトモニタリング報告書 Ver.1.2 三和エネルギーB5燃料製造・販売におけるJ-VER創出プロジェクト」に記載された二酸化炭素排出削減量 35 t-CO<sub>2</sub>は「オフセット・クレジット(J-VER)制度に基づく温室効果ガス排出削減プロジェクト計画書 Ver.1.2」及び「オフセット・クレジット(J-VER)制度に基づく温室効果ガス排出削減プロジェクト計画書別紙 モニタリング計画書 Ver.1.2」に基づいて算定されており、不確かさ及び誤りの合計値が0 t-CO<sub>2</sub>(二酸化炭素排出削減量に対する割合:0%)となり、重要性の判断基準の5%未満であることから、検証意見は無限定適正意見であることを表明する。</p>				

- i 審査担当者、レビュー担当者、外部専門家を含み、それぞれの役割を記載すること。
- ii 検証機関がプロジェクト代表事業者等からモニタリング報告書を受領した日を記載すること(この日を以て当該検証の開始日とみなす)。